

第5章

国際高等研究所の 今後の活動



ISCとしては、これまでの議論に基づき、持続可能な社会の構築のために超克すべき課題について議論を深め、高等研の運営戦略および事業活動の基本方針を含む中長期基本計画を、最終報告として取りまとめた。

高等研は、ISCの最終報告に盛り込まれた各課題に対するその後の具体的な取組みについて、2015年4月以降に所内で検討のうえ、できるだけ早く個々の課題に係る研究プロジェクトをスタートさせることが望まれる。

個々の課題における検討および研究プロジェクトを、国際的な視点や規模で実施するために、内外の財団やシンクタンクとのネットワークの構築に努め、協働に向けた基盤を整えねばならない。その準備として、協働先の候補となる組織の理念や活動の調査、それらの組織との架橋に繋がる人脈の醸成が必要である。さらに、高等研の個々の研究成果の英語版小冊子の発行、シンポジウムやセミナーの継続的な開催による社会への問いかけといった活動も重要である。

こうして我々の持つ問題意識を国際的に発信し、世界に問いかけ、世界と議論し、解決策を考え、社会実装を目指していけるようになれば、高等研としての固有の価値を創出し提供しつづけられると考える。

その活動を世界的かつ実効性の高いものとするには、例えば世界的に多大な影響力を保持する財団、シンクタンク等との協調による高等研の活動の多様化や活発化を図り、協力関係を構築することができる国内外のシンクタンクや研究所等の発掘とネットワーク構築についても迅速に取り組み、その上で経営の安定化を図る必要がある。

